

# 医療社会学

## 【Medical Sociology】

担当責任者 講師（人間関係論） 種田 博之

## ねらい

私たちの社会はこれまでに何度も「薬害」を経験してきました。私たちが経験してきた「薬害」の中に「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」——いわゆる「薬害エイズ」——があります。「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」とは、血友病患者に対して輸入非加熱血液製剤を投与し、その結果、HIVに感染させてしまった「薬害」です。この講義では、「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」について、とくに医師-患者関係のレベルに焦点をしばって、解説をしていきます。すなわち、なぜ医師は輸入非加熱血液製剤を投与しつづけたのでしょうか？投与するにあたってHIVのリスクはどのように評価されたのでしょうか？その評価は患者に如何に伝えられたのでしょうか？HIVに感染させてしまった時、医師はそのことを患者に如何に伝えたのでしょうか？HIVに対して有効な治療方法がなかった時に、医師は患者に対して如何なる対処をしたのでしょうか？そして医師と患者（ないしその家族など）をとりまく社会状況はどのようなものであったのでしょうか？この講義では、上で示した問いに答えるようなかたちで、「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」について、具体的に解説していきます。

## 学修目標

1. 「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」の経緯について説明できる。（Ⅰ-1, Ⅰ-3, Ⅰ-4, Ⅰ-5, V-5）
2. リスク評価の問題点について説明できる。（Ⅱ-9, Ⅱ-11, Ⅱ-12, Ⅳ-7, V-5）
3. 「告知」とはどのような行為であるのかについて説明できる。（Ⅳ-8, Ⅵ-1, Ⅵ-3）

## 事前事後学習の方法

1. 参考文献リストに挙示した文献を事前に予習しておくこと。
2. 配布された資料を熟読して講義内容の復習をすること。

## 成績評価方法・基準

1. 課題レポートの結果をもとに、小レポートを加味し、総合的に判断する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

## ○教科書

なし。

## ○参考書

適宜指示する。

講義:2301講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.10.1	金	7・8	医療社会学とは？ 小レポート	B	4		種田 博之
10.4	月	3・4	「輸入非加熱血液製剤によるHIV感染」の概要	〃	〃		〃
10.8	金	7・8	血友病とHIV/AIDSの基礎的知識 (※)	C,D,E	3,1,2		〃
10.15	〃	〃	HIV/AIDSの表象	B	4		〃
10.18	月	〃	HIV/AIDSのリスクはどのように評価されたのか？ (※)	A	1,2,3, 4,6		〃
10.22	金	6・7	治療方法がない状況における医師-患者関係	〃	〃		〃
10.29	〃	1・2	医師と患者の適正なコミュニケーションとは？ 小レポートならびに課題レポート	〃	〃		〃